

令和2年度

事務事業評価表(令和元年度の実績評価)

記入年月日
令和2年4月15日

Table with columns for project name, policy system position, financial position, and budget items. Includes details for '高齢者福祉の推進' and '介護保険特別会計'.

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (Overall description of the project) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 (Tasks and procedures). Includes details about the project's goals and implementation steps.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table showing performance indicators and trends. Columns include: ①手段 (Methods), ②対象 (Targets), ③意図 (Intentions), and various metrics like '活動指標' and '対象指標' across years 30, 01, 02, 03, 04.

(3) 投入量(事業費)の推移

Table showing input volume and trends. Columns include: 30年度(実績), 01年度(実績), 02年度(計画), and 期間限定総投入量. Includes sub-categories like '国庫支出金' and '事業費計(A)'.

Table showing internal costs. Columns include: 01年度事業費実績(千円) and 02年度事業費予算(千円). Lists items like '11 需用費', '12 役務費', '13 委託料', etc.

事務事業名	生活支援体制整備事業	事務事業No.	10602000988	所属課	高齢福祉課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
平成27年度の介護保険制度の改正により、包括的支援事業の一つとして実施することが位置づけられた。 平成30年度から令和元年度にかけて、市民向けに勉強会及び研修会を開催した結果、参加した市民を中心に、徐々に地域の支え合い活動に対する意識の高まりが見られており、市民が定期的に話し合いを重ね、活動の実践段階へ移っている。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
協議体に参加する市民からは、地域の課題解決に向けた取組を実践しようと積極的な意見が挙がっている。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 地域の課題や不足しているサービスの把握、その解決に向けて活動することは高齢者福祉の推進につながる。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 地域包括ケアシステムの構築は国の施策である。	
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 地域住民への事業の周知、市関係部署、関係機関と連携を取り事業の必要性を訴えていくことで成果の向上につながる。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 廃止・休止することで地域包括ケアシステム構築の遅れにつながる。
効率性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業はなく、統廃合はできない。
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 事業に必要な費用は、必要最小経費で行っている。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市民のための支え合いや、不足するサービス等を話し合い、開発する事業であることより、公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	事業の土台となる第2層協議体が市内各地区に計4カ所発足した。併せて、第2層生活支援コーディネーターの配置ができ、第2層協議体による話し合いが開始できたことで、当初の目標は達成できた。更に、第1層協議体参加者も決まり、今後、第2層協議体と連携して、市全体としての課題を抽出し、話し合いを行っていく。																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加			○					×	×	×
成果	向上 維持 低下	コスト																			
		削減	維持	増加																	
		○																			
		×	×	×																	
第2層協議体参加者の話し合いの中から、地域の課題を抽出し、具体的な活動へと結びつけていくことが課題である。参加者が円滑かつ継続的に取り組んでいけるよう、市及び社会福祉協議会が後方支援をしていく必要がある。		(6) 事務事業優先度評価結果																			
		成果優先度評価結果 ①																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>